

# 平成 31 年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	7	講習名	【選択】教育活動に活かす認知心理学				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
向居 暁	広島キャンパス	6 時間	小・中・高等学校教諭	30 人	講義・ 演習	筆記	
開催日	8 月 1 6 日 (金)		予備日	8 月 3 0 日 (金)			
<p><b>【到達目標】</b></p> <p>心理学研究で用いられる科学的な考え方を理解した上で、教育活動における問題に科学的方法論を用いてアプローチし、認知心理学研究によってもたらされた知見を利用しながら、ある一定の根拠をもって解決しようとする態度を身につける。</p>							
<p><b>【講習の概要】</b></p> <p>この講習では、特に認知心理学に焦点を合わせて、心理学研究の知見を教育活動においてどのように活かすことができるのかを考える。まず、実証科学としての心理学の研究法とクリティカル・シンキングについて学びながら、私たちの「思考のクセ」について学習する。そして、教育活動に関わるテーマとして、「学習原理を用いた効果的な教授・学習方法」に関して具体例を挙げながら、演習形式でともに考察する</p>							
<p><b>【講習の内容】</b></p> <p><b>講義 1・2：心理学研究法とクリティカル・シンキング</b></p> <p>心理学は、日常生活の疑問に科学的方法論を用いて直接アプローチできる学問である。また、心理学研究によってもたらされた知見を用いることで、人間の心理的な働きが関与する日常生活の疑問に根拠をもって答えることが可能となる。そのため、心理学の研究知見のみならず、心理学の研究方法を理解することもまた、複雑な人間の心理活動が関与する教育活動においては非常に有用となる。本講では、主として認知心理学分野で扱われ、心理学研究において重要となるクリティカル・シンキング、特に、因果関係の推論に関して、日常の具体的な事例を通して演習形式で理解を深めながら、私たちが物事の因果関係を推論する際に犯しやすい誤り、そして、より適切な結論を下すための方法について学ぶ。</p> <p><b>講義 3・4：教授法と学習環境デザインのための認知心理学</b></p> <p>認知心理学は、人間の学習における心理学的メカニズムについて膨大な研究知見を蓄積してきた。しかし、残念ながら、これらの知見は教育活動で十分に活かされているとはいえない。本講では、認知心理学を教育実践に利用可能な方法で統合する試みとして「学習原理」を紹介しながら、学習者が、学習材料を深く理解し、将来的に利用可能なかたちで長期間にわたって記憶するために効果的な教授・学習方法について学ぶ。また、これらの学習原理に基づき、授業においてどのような工夫を施せば実際の教授活動がより充実したものになるのか、受講生が具体例を考案しながら、意見交換を行う。</p>							
<p><b>【備考】</b></p> <p>試験の際、講義資料とノートの持ち込みを認める。</p>							